

第VI章 市民の行動計画

1. 基本的考え方

湧水地は、かつては地域で大切に維持管理されていたものである。また、水を大事に利用すること、排水に気をつけることなどは、市民が日々の暮らしの中で実践することで効果が期待できるものである。

今後、水循環の回復や湧水地の保全・整備・再生に向けては、市民レベルでできることを着実に進めていくことが重要であり、将来的には、多くの市民を巻き込んだ運動へと発展させていくことが望まれる。

現在は、湧水をとりまく環境が悪化してきた原因は明らかになっておらず、保全再生の取り組みも試行的にならざるを得ないが、こうした現状を踏まえ、当面は、以下のような方向でできることから進めていくことが必要と考えられる。

- ・ 湧水地をきれいに保ち、大切に守っていきこう
- ・ 湧水について調べ、もっとデータを集めてみよう
- ・ そのために仲間を増やそう

行動の実践にあたっては、これまでの実績のある「新田環境みらいの会」が中心になり、地域や関係団体等と協力しながら、多くの市民の参加を求めつつ、個々の取り組みを進めていくことが望まれる。行政は、協働のまちづくりの視点から、新田環境みらいの会と地域の活動に対して支援していく。

湧水地の保全・整備・再生に向けた市民の行動

参加協力 対象	湧水地をきれいに保つ	湧水のデータを集める	仲間を増やす
	維持管理	調査研究	情報発信
地 域	維持管理に 協力しよう		
興味や 意識の 高い人	水辺整備に 参加しよう	湧水について 調べよう	水辺を知り 知らせよう
全ての 市民	みんなで 水辺を きれいに しよう		
	水を大事に し汚さない		

2. 湧水地の保全管理に向けた行動計画

以下に、具体的な取り組みを例示する。

○地域とともに

- ・湧水地の維持管理に協力しよう
 日常的な清掃や不適正利用の監視
- ・湧水地を利用した憩いの場づくりに参加しよう
 計画段階からの参加

○興味のある人は

- ・湧水について調べよう
 水質や水量、水辺の生き物を調べて記録
 昔の湧水のことを聞き取り
- ・水辺を知り、知らせよう
 案内マップの作成やガイドツアーの開催
 ホームページなどでの情報発信
- ・水を活かしたまちづくりを考えよう

○新田地域のすべての人が

- ・みんなで水辺をきれいにしよう
 湧水地をみんなできれいにするイベントへの参加
- ・水を大事に使いよごさないようにしよう
 家庭で 雨水利用、排水に注意、合併浄化槽設置 など
 事業者も 地下水汲み上げの抑制、地下浸透推進 など
 農業でも 雨水利用、畜産し尿の適切な処理 など

○市民の行動を支える行政の支援

- ・場や機会、しくみを整える
 イベント等の企画、開催、協賛
 湧水地を地域で管理する水守制度等のしくみ
- ・雨水浸透、排水処理対策（事業、事業費助成等）
- ・水辺の整備、改修（水循環の回復、憩いの場）
- ・普及啓発、顕彰
- ・市民活動への支援（情報提供、人的支援、助成金等）

水を活かしたまちづくりにつなげよう

湧水地の保全・整備・再生の取り組みをきっかけに、地下の水、地表の水、空の水（雨）の循環を考え、水を下水に流すのではなく、水の見えるまち、水を大事にするまち、水を楽しむまちづくりへ発展させていくことが望まれる。

3. 湧水マップの作成

新田地域の湧水を広く市民に周知することを目的として、「湧水マップ」を作成し、3月5日に開催された環境フェスティバルにおいて、新田環境みらいの会が配布するリーフレットとして活用した。

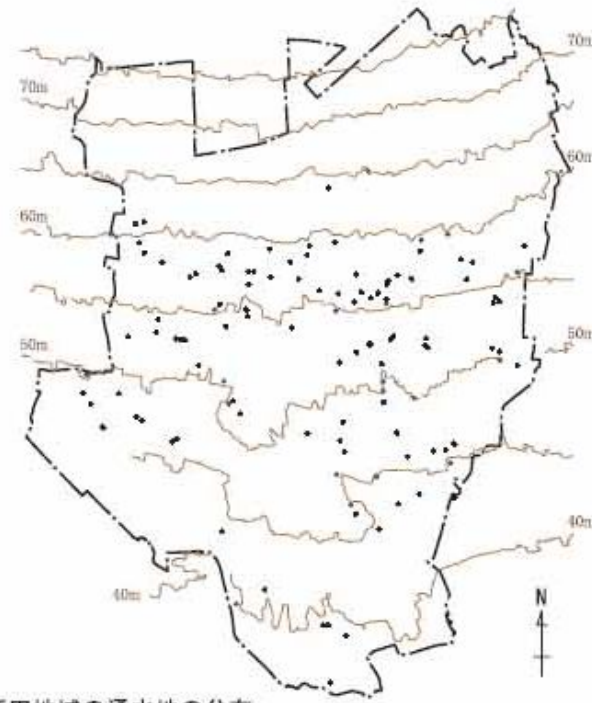
太田市新田地域の湧水地

新田地域は大間々扇状地の扇端部に位置しており、赤城南面や扇状地に降った雨が地下水となり、標高50～60mのところ湧出したのが新田の湧水地群です。

湧水地の近くには、古くは縄文時代の遺跡も発見されており、太古から湧水は人々の暮らしに密接に関わっていたことがわかります。

中世の新田地域は東国を代表する荘園「新田荘」が営まれていました。大川、石田川の水源である重殿、矢太神の両水源は、新田開発の上で大きな役割を果たし、反町館跡、江田館跡、生品神社など関連する遺跡とともに、国によって史跡「新田荘遺跡」に指定されています。

記録に残る湧水地は右図のように約120箇所に及んでいますが、その後、涸渇したものや埋め立てられたものも数多くあり、現在でも湧水が確認できるものは大小20余箇所となっております。これらの保全整備は急務となっております。



新田地域の湧水地の分布

『新田町誌基礎資料第8号 村々の沿革と地図』
(平成3年、新田町)をもとに作成

新田地域の湧水地

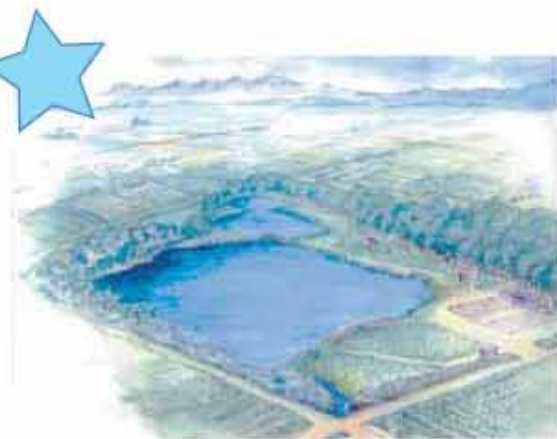


写真：矢太神沼の湧水点
ホテルの里公園の北端にある矢太神沼は、かつての面影を残す湧水地で自噴現象も見られます。「新田荘遺跡・矢太神水源」として国指定史跡になっています。

湧水の写真を見せてくれませんか 湧水にまつわる思い出を聞かせてくれませんか

新田環境みらいの会では、湧水の保全・再生に向けた取り組みを進めていますが、かつて湧水地周辺がどのような環境でどんな生き物がいたのか、どんな使い方をしていたのか、地域での決まり事や言い伝えはあったのかといったことは記録に残っていません。

湧水の情報をお持ちの方は、ぜひご連絡ください。



美濃谷戸湧水地の保全計画

湧水地の保全は地域のみでの努力では限界があることがわかり、地域でも保全活動を積極的に進めている美濃谷戸湧水地について、地域の意見を聞きながら保全計画として取りまとめ、平成16年10月25日に「新田環境みらいの会」として町長（当時）に保全の要望書を提出しました。その結果、一部、護岸や園路の整備が行われました。

かつては豊富に湧いていた井天湧水



矢太神沼で行われる雨乞いの神事

新田地域には「井」の付く地名が多いことでもわかるように、古来、多くの湧水地があり生活用水や農業用水として利用されてきました。こうした湧水は地域の人々によって大切に守られてきましたが、近年では湧水地をとりまく環境は悪化してきています。

新田地域の誇りである湧水地を次世代に引き継ぐために、私たちはもっと湧水のことを知り、今できることを実施することが大切だと考えています。

- ・湧水地にごみなどを捨てないようにしましょう
- ・有害な廃棄物の投棄は湧水の源である地下水を汚染します
- ・土地の保水力を高め湧水量を増やすために緑地を増やし大切にしましょう

■ 新田環境みらいの会

「新田環境みらいの会」は、平成14年度の新田町環境基本計画策定に協力した町民主体の組織「新田町環境みらい会議」を前身として発足し、『新田町環境基本計画』に掲げている「町民主体の重点行動プラン」を实践するために自主的な活動をしている市民団体です。

会員は、自然環境部会（水や動植物、空気、景色など）、社会環境部会（産業、交通、エネルギーなど）、生活環境部会（ごみの減量、省資源、不法投棄防止など）の3つの部会に分かれ、実地調査やイベントなどの活動を行っています。

身近な環境をよくするために、皆さんも一緒に行動してみませんか。

連絡先：太田市役所新田総合支所産業・環境課
電話：0276(57)1111(代)

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~NITTA-MIRAI/>

新田環境みらいの会

平成18年3月

湧水地は地域のオアシス



14 シフト池
埋め立てられていた湧水地の復元整備が予定されています

15 団蔵坊
植栽やベンチが池の周りに整備され、赤城山の眺望も楽しめます

16 天沼
湧水を集めた大きな池で、昔は子どもたちが泳いでいたそうです

17 清水の湧水
太奈荷神社の近くにあり、池底からの自噴現象が確認できます

18 江田の池
江田氏の別荘といわれ、湧水を利用した庭園風の池になっています

13 美濃谷戸沼
四角い三連の池で、地域の盛力で保全が図られています

12 矢太神沼
石田川の水源地で、自噴現象も見られ良好な自然環境を残しています

11 妙参寺沼
湧水を水路で引いた溜池で、一帯は公園として整備されています

10 ドブゼキ
ヤナギの大木の下に石の水門(堰)があり、懐かしいV字川を感じさせます

5 羅釜
練石積みで長方形の池で、水田が広がる一角にあります

9 谷地池
湧水地、水路、池が、谷地池公園として整備されています

4 井天
今は濁っていますが、スギとケヤキの古木の下に井天様の祠があります

8 反町館
反町館の南側の堀は、数ヶ所から湧く湧水が水源になっています

3 一の字池
練石積み細長い池の脇には、ポンプ小屋跡や水路跡が残っています

7 金井沼
周辺の宅地化が進む中で、大きな長方形の湿地として残っています

2 三角池
住宅地開発に伴って整備された小公園の中に残された三角の池です

6 重殿
大川の水源地で、矢太神沼とともに、史跡「新田荘遺跡」になっています

1 ミタラセ
医王寺の門の脇にあり、夏にはスイレンの池になります